

九州大学情報基盤研究開発センター民間利用
平成 30 年度利用課題募集要項

九州大学情報基盤研究開発センターでは、イノベーション創出を推進し、わが国の産業の振興に寄与するため、保有するスーパーコンピュータシステムとその上のアプリケーションプログラムによる大規模計算サービスを民間企業に提供しています。

1. 応募資格

- 日本国内で利用がなされること。
- 平和利用目的の提案であること。
- 九州大学情報基盤研究開発センターの利用に関する規程を遵守すること。
- 採択課題の目的にのみ利用すること。
- 人権および利益保護への配慮を行うこと。
- 文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」に適合すること。
- 経済産業省「安全保障貿易管理について」に適合すること。
- 原則として、利用課題は単一企業による提案であることとしますが、課題実施の際に利用するソフトウェアの開発企業や共同研究に関する企業のメンバが利用者に含まれることは認めます。ただし、登録利用者の 6 割以上が利用課題を応募した企業に所属していることが必須条件となります。
- 海外企業の研究者による利用について、国費で整備された施設であるとの観点から、我が国において法人格を有する、あるいは法人格はなくとも我が国に事業所等を有する海外企業の研究者については、我が国企業の研究者と同様に利用を認めます。ただし、施設を利用した研究結果を即時公開することを条件として、海外企業の研究者による利用を認めます。また、国際的な産学官連携活動を通じたイノベーション創出、さらには我が国の国際競争力強化の観点から、我が国企業の研究者との共同研究による場合には、上記に関わらず、我が国企業の研究者と同様に利用を認めます。

以上の内容をもとに海外企業研究者の利用資格を表にまとめると次のようになります。

	成果公開延期を認める利用	成果即時公開を条件とする
日本の法人格を有している企業	可	可
日本の法人格は有していないが、我が国に事業所等を有している企業	可	可
日本の法人格及び我が国に事業所等を有していない企業	共同研究利用に限り可	可

海外企業の研究者による利用にあたっては、「安全保障貿易に係る機微技術管理ガイドンス」(平

成 20 年 1 月、経済産業省) を踏まえ、「民間利用審査委員会」によって審査し、最終的な利用の可・不可を判断いたします。

2. 採択予定数

共有タイプ：8 件程度

3. 計算機資源

FUJITSU スーパーコンピュータシステム ITO

サブシステム A

理論ピーク性能 6.91 PFLOPS

主記憶容量 384TB

サブシステム B

理論ピーク性能 3.05 PFLOPS (内 GPU 2.71PFLOPS)

主記憶容量 DDR4: 49TB HBM2: 8.19TB

基本フロントエンド

理論ピーク性能 0.42 PFLOPS

主記憶容量 DDR4: 61TB GDDR5: 1.28TB

大容量フロントエンド

理論ピーク性能 49.6 TFLOPS

主記憶要領 DDR4: 48TB GDDR5: 32GB

ストレージ

ディスク容量 24.6PB

アプリケーションプログラムの利用に関してはあらかじめご相談ください。

4. 利用負担金（月額）

区分	サブシステム A	サブシステム B	基本フロントエ ンド	大容量フロント エンド	ストレージ
共有タイプ	4 ノード : 3,880 円 16 ノード : 15,520 円 64 ノード : 62,080 円 128 ノード : 124,160 円 256 ノード : 248,320 円	1 ノード : 2,800 円 4 ノード : 11,200 円	S プラン : 864 コア時間積 [2CPU(36 コア) * 24 時間] 1,180 円 M プラン : 3456 コア時間積 [8CPU(144 コア) * 24 時間] 4,720 円 L プラン : 6912 コア時間積 [16CPU(288 コア) * 24 時間] 9,440 円	M プラン : 4224 コア時間積 [8CPU(176 コア) * 24 時間] 6,880 円 L プラン : 8448 コア時間積 [16CPU(352 コア) * 24 時間] 13,760 円	10TB : 450 円 100TB : 4,500 円

※フロントエンドの予約可能コア時間積は CPU 数(コア数)*24 時間を基準に設定していますが、コア数と時間の組み合わせは任意です。例えば S プランでは以下のような予約が可能です。

例) Case1: 18 コア * 48 時間の予約 1 件

Case2: 4 コア * 96 時間の予約 1 件

Case3: 18 コア * 24 時間の予約 1 件 + 36 コア * 12 時間の予約 1 件

5. 利用規程

計算機の利用に関しては、九州大学情報基盤研究開発センター研究用計算機システムの利用に関する規程を遵守していただきます。

6. 利用課題審査

平和目的の利用を前提に、民間利用審査委員会にて、科学技術上の妥当性、施設・設備を利用する必要性、利用・開発の実施可能性等について総合的かつ専門的に審査いたします。

7. 応募方法

計算機利用申請書（Microsoft Word 形式）を <https://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/service/minkan/> から取得し、必要事項を記入の上、九州大学情報システム部情報基盤課情報基盤グループ・全国共同利用担当（電子メールアドレス zenkoku-kyodo@iii.kyushu-u.ac.jp）までお申し込みください。あわせて郵送もお願いいたします。

8. 採択結果の通知

計算機利用申請書を受理後、審査を経て 1 か月程度で通知する予定です。

9. 誓約書の提出

課題採択が決まった企業には、採択結果通知後に、上記の応募資格の内容を遵守する旨の誓約書を提出していただきます。WEB ページから誓約書（Word ファイル）をダウンロードし、署名・捺印をして郵送してください。

10. 成果報告等

成果報告は、利用課題期間終了後 30 日以内に提出とし、原則公開とします。ただし、所定の手続きを行えば、最大 2 年の成果公開延期が可能です。

本センターの主催するシンポジウムにて、発表等をお願いすることがあります。

11. 免責事項

計算機の利用に関連する事項に対し利用者に生じたいかなる不利益な事項に対しても、本センターは一切の責任を負いません。

12. 知的財産等の取り扱い

原則として、本センターの利用で発生した知的財産は提案企業に帰属します。ただし、施設共用技術指導研究員などの共同研究の実施者における発明者の認定については、本学の知的財産ポリシー等に基づき対応がなされることを想定しています。詳細やその他の例外的な事項の取り扱いにつきましては、本センターまでご相談ください。

13. その他

- 旅費・宿泊費等の補助はありません。
- 本公募により提供された個人情報、利用課題審査とシステム利用の目的にのみ利用いたします。
- 利用課題採択時に、計算機利用申請書に記載された利用課題名と会社名を公募情報として原則公表させていただきます。
- 利用課題終了後、WEB ページ及び刊行物に責任者氏名・所属及び利用課題名等を掲載する場合があります。
- 利用に関する相談などは、以下の電子メールアドレスにお問い合わせください。電話でのお問い合わせについては、お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先（利用に関する相談など）

電子メールアドレス：zenkoku-kyodo@iii.kyushu-u.ac.jp

計算機利用申請書の郵送先

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学情報システム部情報基盤課

情報基盤グループ全国共同利用担当

以 上